



#1

#2

「ドラッグを使いながら、放送に出たことはあるのか？」薬物事件で逮捕された元NHKアナが上司について一つの“嘘”

『僕が違法薬物で逮捕されてNHKをクビになった話』より #1



塚本 堅一

8時間前

genre : ライフ, 社会, ライフスタイル

コメント

夕方5時のニュース番組でリポーターを担当し、NHKのアナウンサーとして順調にキャリアを重ねていた矢先、違法薬物の所持・製造で逮捕された塚本堅一氏。報道する側から一転して報道される側に転落した彼が、留置場で考えたこととは……。

同氏が逮捕前日から現在に至るまでの歩みをまとめた著書『[僕が違法薬物で逮捕されてNHKをクビになった話](#)』（KKベストセラーズ）の一部を抜粋。麻薬取締官の取調べ、接見に来た家族・上司との面会の様子を紹介する。（全2回の1回目/[後編を読む](#)）

※塚本氏は現在、依存症問題の誤解や偏見を払拭する活動を行う団体「[一般社団法人ARTS](#)」のプロジェクトに協力するなど、依存症問題に関するさまざまな活動を行っています。



マトリの取り調べと再逮捕

私を担当したのは、メガネで優しい雰囲気のE捜査官と、新卒で入ったばかりの若い女性捜査官の二人です。取調室に入ると、E捜査官が「“あとみよそわか”っていい言葉だね」と突然告げました。これは、作家の幸田文が、父である幸田露伴から教わった言葉で、掃除などの家事を終えた最後に「あとみよそわか」と唱えながら、最終確認をしなさいと躡（しつ）けられたそうです。

ランキ

最
写

そう感じた瞬間でした。嘘をついたり、策を練ったりしないでいこうと決めたのも、この出会いだったからかもしれません。



©iStock.com



この記事の画像 (2枚)

取り調べでは最初から、全部隠さず話しました。この期に及んで、隠すものもありません。逮捕当時、私は容疑を一部否認していると報道されていましたが、否認というよりは「違法性があったかどうか、よくわからなかったものを作ってしまった」と供述していました。最初の頃は、マトリとしてはラッシュそのものを作るつもりだったと供述させたいようでした。確かに、効き目は昔使っていたラッシュに似ていましたが、そこまで効果が高かったかというそうでもない。中には、全然効かないものもありました。「何パーセントくらいの割合で、偽物だと思いましたが？」という質問もありましたが、何パーセントなんて、割合で分かるわけがありません。グレーゾーンは、あくまでグレーです。でも、それでは通用するわけがない。結果として「これが違法なものかどうかわからなかったが、もししたら違法なものなのかもしれないというグレーゾーンの気持ちに蓋(ふた)をして購入した」という結論に至りました。

文字にすると、あっという間ですが、この結論に達するのに1ヶ月かかっています。調書に私の人生がかかっているわけですから、お互い真剣です。

これまでの人生で、ラッシュにどれくらいお金を払ったかなんて、到底わかるわけがない質問もありました。作った液体を入れていた瓶を、どこで購入したかと私が答えれば、捜査官たちが売り場にその確認に行く。どこの銀行から入金をしたと答えれば、銀行からATMの監視カメラの映像を取り寄せる。そうやって、一つ一つ答えていくと、これくらい時間がかかるのは当然かもしれません。

次のページ [弁護士も驚いた再逮捕](#)



- 0
-
- 20
- 1
-
-
- コピー



最新情



SPEC





#1

#2

「ドラッグを使いながら、放送に出たことはあるのか？」薬物事件で逮捕された元NHKアナが上司について一つの“嘘”

『僕が違法薬物で逮捕されてNHKをクビになった話』より #1



塚本 堅一

8時間前

genre : [ライフ](#), [社会](#), [ライフスタイル](#)

コメント

弁護士も驚いた再逮捕

基本的に、E捜査官が取り調べをして調書に仕上げる。その間、私は若い捜査官と「塚本さん、これはしくじり先生に出るべきですよ！」「あのね、しくじり先生は、失敗した後ちゃんと成功するような人が出るから面白いの。私は、もうそんなことにはなりません」なんて雑談をしていました。

とはいえ、再逮捕は流石（さすが）の私もショックを受けます。前日に、「もしかして、製造の罪で再逮捕するかも……」とE捜査官から告げられました。私だけでなく弁護士も、再逮捕なんてあるはずがない！ と驚いたほどです。そもそもキットを買って作っていたことは、任意で取り調べられた時から正直に話していました。調書にもそのように書いていたのに、今更になって「製造」の容疑。

ランキ

最
写





©iStock.com



後から考えると、売った人を捕まえるため「製造」の罪が欲しかったのかもしれませんが。再逮捕後は、私の供述による製造実験なども行われました。「こんなに簡単にできるものだったのか……」と検事も驚いていたようです。私が釈放された数週間後、製造キットの販売人がようやく逮捕されました。



気が重い面会室

父は幼い頃に、母も私が社会人3年目の時に他界しました。なので家族は姉だけです。弁護士が決まったあと、姉が面会にやってきました。最初は、できればこんな姿を見せたくないと拒んだのですが、そうも言っていられません。局とのやりとりは、主に弁護士に任せていましたが、家のことなど伝達事項もあり、私が折れました。

弁護士とは違って、家族面会には看守さんが立ち会います。「休みで寝ていたら、友達からガンガン電話が鳴って、慌ててネットニュース見たらケンイチが逮捕されたのを知ったよ。最初は嘘かと思って、ラインを送ってみたけどやっぱり既読にならない。もう知らん！って寝直したら、それでもやっぱりいろんな人から連絡がきて、それはそれは大変でした。ま、生きてよかった。もう、心配かけないでください。「本当に申し訳ない……」と私は謝ることしかできませんでした。

「聞きたいことをリストにしてきたので、時間もないからこっちを片付けよう」。家族面会は、時間が15~20分と限られています。飼い猫は、姉と近所に住んでいる友人が面倒を見てくれているので無事だということ、大家さんにも謝罪の連絡を入れていること、沖縄のパートナーが心配して週末ごとに上京していることなど、報告事項を順番に済ませます。「あのサイト見たけど、あれは騙されるね。まあ、起きてしまったことは仕方ないよ。仕事のことは早まって結論を出さないで、よく考えて弁護士さんに相談しなさい」。あっという間に制限時間がきて、姉は帰っていきます。この日、姉から私を責める言葉は一つもありませんでした。もし、私が姉の立場になったとしたら、同じことをできるか。頭が上がりません。

-  0
- 
-  20
-  1
- 
- 
-  コピー

- 
- 
- 
- 
- 

最新情

- 
- 
- 

SPEC

- 
- 
- 
- 
- 

0

f

20

B!

1

LINE

コピー



#1

#2

「ドラッグを使いながら、放送に出たことはあるのか？」薬物事件で逮捕された元NHKアナが上司について一つの“嘘”

『僕が違法薬物で逮捕されてNHKをクビになった話』より #1

 塚本 堅一

8時間前

genre : ライフ, 社会, ライフスタイル

コメント

初めてついた嘘

取り調べと並行して、NHK側の面談もありました。さすがに最初の面談は、気が重くて仕方がなかったのを覚えています。午前中は、いつも通り留置場内で取り調べを受け、午後にアナウンス室の管理職の二人と弁護士同伴のもと面会室で会いました。その前に、迷惑をかけた担当番組のスタッフ一同とアナウンス室の室長、アナウンス室の同僚に宛てた謝罪の手紙を書きました。これが届けられるかどうかはわかりませんが、どうしてもお詫びの気持ちを伝えたくったのです。面会室に入ると、よく知る上司二人がいます。まずは、私の起こした事件で大迷惑をかけてしまったことをお詫びしました。「思ったより元気そうだな」と声をかけてもらい、局側からの事情聴取が行われます。責められるということが一切なく、粛々（しゅくしゅく）と事情聴取が行われているのは、逆に辛いものでした。本人から直接聞いたということが恐らく大事なポイントなのですが、面会時間は20分と限られているため、あまり細かく話すことはできません。合法的なかわからない怪しいサイトで製造キットを買ったこと、疑いの気持ちも強かったが、公共放送のアナウンサーとしてあまりにも自覚が足りなかったと猛省していることなどを伝えます。「ドラッグを使いながら、放送に出たことはあるのか？」なんて質問もありましたが、ラッシュの作用について説明し、納得してもらいました。面会の最後に「塚本は、今後どうしたい？」と要望を聞かれます。

「刑が確定するまで、処分は待っていてほしい。アナウンサーではなく、別な職種で放送を支えたい」

ここで、初めて嘘をつきました。本当は、逮捕された時点で辞めるつもりでいたのです。不起訴であろうと何だろうと、この時点で解雇になるのは想像できていたし、好きだった職場をここまで混乱させた自分を許すことができませんでした。とはいえ、弁護士や姉たちは、過去の事例や就業規則を基に、いろいろな策を考え、留まることができるのであれば、そこからやり直せばいいと、助言してくれました。私だけでなく家族にも迷惑をかけているなか、その提案を無下にすることはできませんでした。でも、内部にいた人間の感傷として、国会でも私のことが追及されている状態で、それは絶対無理だろう

ランキ

最
写





とはいえ、NHKとの初めての面談は、マトリの取り調べがなかなか進まない中、一ミリでも先に進むことができた気がして、久しぶりにホッとしたものです。

【続きを読む】[“外に出られない”“人と話せない” 薬物事件を起こしたNHKアナが社会復帰できた「決定的なきっかけ」とは](#)

僕が違法薬物で逮捕されNHKをクビになった話



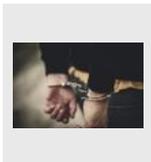
塚本 堅一
ベストセラーズ
2019年8月26日 発売

Amazonで購入する

#2に続く

[“外に出られない”“人と話せない” 薬物事件を起こしたNHKアナが社会復帰できた「決定的なきっかけ」とは](#)

この記事の写真 (2枚)



1

2

3



ツイッターをフォローして最新記事をいち早く読もう

文春オンラインをフォロー

関連記事

